

3 公大協第 96 号

令和 3 年 8 月 20 日

独立行政法人大学入試センター理事長

山本 廣基 様

一般社団法人公立大学協会

会長 松尾 太加志 (北九州市立大学長)

令和 7 年度大学入学共通テストにおける出題科目『情報 I』の
経過措置案に対する意見 (回答)

平素より、当協会並びに会員校の活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和 3 年 7 月 26 日付入試セ企第 44 号で照会のありました掲題の件につきまして、別紙「令和 7 年度大学入学共通テストにおける出題科目『情報 I』の経過措置案に対する意見」のとおり回答申し上げます。

ご査収の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

【お問合せ】

一般社団法人 公立大学協会 事務局担当：岡崎
東京都千代田区霞が関 3-8-1 虎の門三井ビル B106

TEL : 03-3501-3336

Mail : jimmu@kodaikyo.org

令和7年度大学入学共通テストにおける出題科目『情報Ⅰ』の 経過措置案に対する意見

貴センターから提示されたA案（旧教育課程の教科「情報」の内容に対応した経過措置問題を作成し受験させる方法）及びB案（経過措置問題を作成せず、『情報Ⅰ』を課す大学において旧教育課程履修者が不利とならないよう配慮する方法）について会員校に意見聴取を行い、その結果を下記のとおり協会の意見として回答いたします。

全会員校98校中78校から回答があり、うちA案を支持する会員校34校（回答に占める割合は43.6%）に対し、B案は16校（同20.5%）であった。また『情報Ⅰ』を課さない又は現時点では回答できないと回答したのは28校（同35.9%）であった。

A案を支持する理由の多くは、B案における各大学の配慮が統一されないことで、受験者に混乱を生じさせかねない点と、旧教育課程履修者への配慮の具体的な方法に対する懸念である。貴センターより発出された、令和3年3月24日付「平成30年告示高等学校学習指導要領に対応した令和7年度大学入学共通テストからの出題教科・科目について」において「旧教育課程（略）を履修した高等学校等卒業者に対しては、出題する教科・科目の内容に応じて配慮を行うものとし、令和7年度大学入学共通テストにおいて必要な措置をとる」との記載があり、貴センターによる統一的な対応への期待もあったと思われる。

一方で、B案を支持する理由としてあげられたのは旧教育課程の「情報」は学習内容が大きく異なる点である。A案の経過措置問題を受験させることにより、経過措置がうまく機能したとしても、入学後の知識・能力のギャップはカリキュラムに影響を与えかねない。

当協会は貴センターにおいて経過措置問題を作成し統一的な対応を取ること、そのうえで各大学が、必要に応じて『情報Ⅰ』を選択科目とすることができることが望ましいと考える。「配慮」をすべて大学の判断に委ねることなく、できる限り受験者への平等な対応をお願いしたい。